

角淵由英氏の「生成AI特許分析GPTs」

Manus

概要

「生成AI特許分析GPTs」は、角淵由英氏（弁理士・博士（理学）、弁理士法人レクシード・テックパートナー）が開発したエージェント型GPTです。このツールは、簡単な入力からWEB情報と特許情報を段階的に調査・分析することができます。ユーザーが簡単な文章を入力するだけで、生成AIが自動的に分析を行い、詳細なレポートを提供します。

主な特徴 エージェント型GPT: 自動的に情報収集と分析を行うエージェントとして機能します。

2. **段階的な分析プロセス**: 分析は3つのパートに分かれており、体系的な情報収集と分析が行われます。
3. **WEB情報と特許情報の統合**: インターネット上の一般情報と特許データベースの情報を組み合わせて分析します。
4. **簡単な操作性**: 技術内容を入力するだけで、AIが自動的に調査・分析を実行します。

分析プロセス

「生成AI特許分析GPTs」の分析は、以下の3つのパートで構成されています:

Part 1/3: 技術に関する一次調査レポート（概要＋構造整理）

- ・ 技術概要の把握
- ・ 導入事例の調査
- ・ 技術的特徴と利点の分析
- ・ 課題と対応策の特定

Part 2/3: 特許情報の分析レポート

- ・ 関連特許の概要調査
- ・ 出願トレンドと技術分類の分析
- ・ 主な出願人と競争状況の把握
- ・ 特許の質と影響力の評価

Part 3/3: ビジネス実装・製品化・規制・資金調達の詳細調査

- ビジネスモデルの分析
- 製品化に関する情報
- 関連規制の調査
- 資金調達状況の分析

使用方法

1. 分析したい技術の内容を入力する
2. AIが自動的に一次調査を実施し、技術概要と構造を整理したレポートを生成
3. 「OK」と入力することで次のステップに進み、特許情報の分析レポートを取得
4. さらに「OK」と入力することで、ビジネス実装や規制に関する詳細調査結果を取得

応用例

角淵氏のnote記事では、「RFIDタグとリーダーを活用したセルフレジシステム」を例として、このGPTsの分析出力が紹介されています。この例では、技術概要、導入事例（ユニクロのセルフレジシステム）、技術的特徴と利点、課題と対応策などが詳細に分析されています。

関連GPTs

角淵氏は「生成AI特許分析GPTs」の他にも、特許実務に関連する以下のGPTsを開発しています：

1. **生成AI先行技術調査**: 自然文から先行技術を段階的に調査・検証するエージェント型GPT
2. **侵害予防調査と無効資料調査のノウハウ**: 特許調査のセオリーを教えてくれるGPT

開発者情報

角淵由英氏は、弁理士・博士（理学）であり、弁理士法人レクシード・テックパートナーに所属しています。また、特許検索技術大会の会長も務めています。特許調査における生成AI活用に関する記事やセミナーも多数提供しています。

情報源

- [生成AI特許分析GPTsの使い方 | 角淵由英（つのぶちよしひで）](#)
- [特許実務GPTs集 | 角淵由英（つのぶちよしひで）](#)

- [角淵由英氏のX（旧Twitter）投稿](#)